

平成26年度

復旧・復興が最優先

4日間にわたり集中審議

予算特別委員会は、3月10日から14日まで（11日は休会）町中央コミュニティセンターで開かれました。初日には、委員長に吉川淑子委員を選出。4日間にわたり一般会計、特別会計、水道事業会計の26年度予算を審議しました。復旧・復興や産業・福祉の課題など数多くの質問が出され、活発な議論が行われました。ここではその審議の概要をお伝えします。

復旧・復興

高台住宅団地での再建希望の決定は

問 防災集団移転事業の移転戸数は25年12月時点で935戸で1年前からかなり減っているが、移転先の一部のみが先に完成した場合、早期移転希望者の再建場所を集約するか。

復興推進課

災害公営住宅希望が増えたためである。高台住宅団地の土地は必要な面積しか買収することができないが、今後の調査で移転希望者が増えた場合は対応する。移転者の住宅再建の場所は、希望を取って決定する。

基盤整備の進捗状況は

問 山田病院は26年度に土地引き渡し、28年度に開院予定だが、間に合うか。

基盤整備である細浦柳沢線の工事に進展が見えない。26年度中に完了させるのは難しいのでは。

復興推進課

間に合うように進めていく。細浦柳沢線はルートが未確定な

箇所もあるが、地権者への説明は行っている。

柳沢住宅の改修は

問 柳沢住宅の改修の時期は。

建設課

現在設計中である。26年度に工事を行的、27年度に入居見込みである。3棟70戸のうち1階は不居住とし、2階以上の49戸を改修する。入居者は公募する。

西川の改修計画は

問 西川改修の計画は。

建設課

河口から7分団屯所付近までの550メートルを改修する。かさ上げ部の400メートル強はトンネル河川となるが、断面積を倍程度として高潮時に大雨が重なっても大丈夫なように設計する。全体の事業費は40億円程度掛かる。



改修が計画されている西川

国道沿いの整備は

問 国道45号沿いの低地部の復旧・復興計画は。

復興推進課

国道は少しかさ上げし、山田地区北側に商店街を、南側に水産加工業を集約したい。

産業

水産業の復活は

問 利子補給以外の補助金がないが、水産業を復興できるのか。

水産商工課

現状復旧させるために国の事業で9分の8を補助し、対象外となったものを町単独費で補助した。3千万円の町単独費だけでも相当な額である。がんばる漁業の事業により、養殖業については一定の収入が保証されている。

漁業の6次化を

問 漁業こそ6次化すべきでは。

水産商工課

6次化は自分で採捕して加工するのが前提であり難しい。

問

町内産の物を町内で加工できないか。

水産商工課

町内加工業者が商品加工しているの

で付加価値を付けたい。26年度予算で商談会を開催し、販路の開拓を進めたい。

福祉

子育て施策の充実を

問 女性が安心して子育てできる施策が必要では。給食事業など、山田に住みたい、戻りたいと思える施策を。

健康福祉課

子ども・子育て支援法により町民の合議制を取り、計画に意見を反映する。

小中学校の扶助金は

問 小中学校の援助費扶助金の対象人数、内容は。震災との関連は。

学校教育課

生活保護世帯、準要保護世帯、被災した世帯が対象である。小学校で準要保護60世帯、被災130世帯。中学校で準要保護77世帯、被災73世帯である。学用品費や通学用品費、医療費等に対して支給する。